

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院睡眠呼吸器科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自分やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2017年1月 ～ 2018年12月の間 に、睡眠時無呼吸症候群に対して 持続陽圧呼吸（CPAP）療法 を開始された方

【研究課題名】

遠隔モニタリングによる早期介入が持続陽圧呼吸（CPAP）療法アドヒアランスに及ぼす影響の検討

【研究の目的・背景】

《目的》

遠隔モニタリングシステムによってCPAP療法の使用状況が改善したかどうかを検討します。

《研究に至る背景》

睡眠時無呼吸の治療においてCPAP療法の使用状況は重要です。2018年より遠隔モニタリング対応機器を使用できるようになり、遠隔モニタリングを用いて早期に医療者から連絡を行っていますが、この取り組みがCPAPの使用状況改善に寄与しているかどうかはわかりません。この有用性を明らかにすることによって、将来の睡眠時無呼吸症患者さんの治療において役立つことが期待できます。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2019年8月15日 ～ 2022年12月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院睡眠呼吸器科、富田康弘医師 のもと研究

終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：診療記録、睡眠ポリグラフ検査結果、CPAP 使用状況、薬歴、看護記録など

【研究責任者】

虎の門病院 ・ 睡眠呼吸器科 ・ 富田康弘

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2019年9月31日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 睡眠呼吸器科 ・ 富田康弘

電話 03-3588-1111(代表)